

21世纪高等院校日语系列教材

总主编 刘 婷

「实用」

日语身游教程

主 编 冯金江



对外经济贸易大学出版社

University of International Business and Economics Press

图书在版编目 (CIP) 数据

实用日语导游教程/冯金江主编. —北京: 对外
经济贸易大学出版社, 2010
(21 世纪高等院校日语系列教材/刘婷主编)
ISBN 978-7-81134-747-0

I. ①实… II. ①冯… III. ①导游 - 日语 - 高等学校
- 教材 IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2010) 第 130061 号

© 2010 年 对外经济贸易大学出版社出版发行

版权所有 翻印必究

实用日语导游教程

冯金江 主编

责任编辑: 万顺平 胡小平

对外经济贸易大学出版社
北京市朝阳区惠新东街 10 号 邮政编码: 100029
邮购电话: 010 - 64492338 发行部电话: 010 - 64492342
网址: <http://www.uibep.com> E-mail: uibep@126.com

江西师大印刷有限责任公司印装 新华书店北京发行所发行
成品尺寸: 185mm × 240mm 25 印张 203 千字
2010 年 8 月北京第 1 版 2010 年 8 月第 1 次印刷

ISBN 978-7-81134-747-0

印数: 0 000 ~ 6 000 册 定价: 42.80 元



前 言

中国是一个历史悠久的文明古国，有着得天独厚的自然及人文旅游资源，为世界各国游客所向往。随着改革开放的不断深入、中国与全球各国往来日益广泛。日本作为我国近邻，两国在各方面交流越发深入，旅游日语的使用也越来越频繁，我国旅游事业也得到了迅猛发展。为了满足旅游工作者及广大学日语人员学习有关知识、扩大词汇量、进一步提高综合接待能力和服务水平的需要，特编写本书。本书介绍了旅游接待过程中必须掌握的常识、技能、参考材料、旅游时的应急措施和各种特色旅游的特点、利弊、注意事项等。另外，还介绍了若干日本闻名景点及著名旅游城市。本书力求内容丰富、通俗易懂，描述准确、科学，使知识性、实用性、趣味性融于一体，能更好地满足广大读者的需要，本书是为有一定日语基础的我国读者编写的。它内容广泛、实用性强，既可以作为课堂教学的教科书，又可以作为旅游业从业者的自学书。

本书按旅游情形共分5个章节，集近千句旅游常用日语，并分别插入10多个实用会话场面，对中国旅游景点作了详细的介绍，单元例文和小知识，目的在于边学边用，寓学于乐。学完本书后，基本上能够自如地进行日语旅游会话。

《实用日语导游教程》是一门实践性很强的课程，课程教学力求将语言学习和观光导游的实际技能训练相结合，注重情景模拟的训练，使学生在具体的场景中掌握导游技能。包括结合导游工作的特点，帮助学生掌握用日语介绍旅游资源的方法，从而提高学生的实际语言应用能力和相关的工作能力使学生在短时间内迅速、全面地掌握日语旅游知识。

参加本教材编写的教师，都是长期在日语教学第一线工作的教师。本书由



冯金江, 吴艳等教师参与编写。感谢日本籍教师山下和彦对本书进行校稿。

由于时间仓促, 书中难免有不妥之处, 希望使用本书的教师、学生提出宝贵意见, 以便进一步修订、完善。

编 者

2010年5月



目 次

第一章 ガイド実践

第一課	出迎え	1
第二課	部屋割りと食事	6
第三課	スケジュールの打ち合わせ	11
第四課	日間観光案内	15
第五課	観光スポットの案内	19
第六課	買い物と娯楽	24
第七課	トラブル処理	31
第八課	見送り	36

第二章 中国の世界遺産

第一課	文化遺産	39
	(一) 万里の長城	39
	(二) 故宮	43
	(三) 敦煌	50
	(四) 蘇州古典園林	56
	(五) 龍門洞窟	62
第二課	自然遺産	69
	(一) 九寨溝	69
	(二) 三清山	75



	(三) 中国南方カルスト	82
第三課	复合遗产.....	87
	(一) 泰山	87
	(二) 黄山	92
	(三) 樂山大仏と峨眉山	99
	(四) 武夷山	106
第四課	文化景観——廬山.....	112

第三章 中国重点風景区の紹介

第一課	西湖	118
第二課	九華山	126
第三課	井崗山	131
第四課	嵩山	137
第五課	三亜	142
第六課	黄果树風景名勝区	150
第七課	大理	160
第八課	華山	169
第九課	青海湖	177
第十課	天池	183

第四章 ガイド基礎知識——中国篇

第一課	中国伝統文化の代表——京劇、雑技、書道.....	192
	(一) 京劇	192



	(二) 雑技	202
	(三) 書道	214
第二課	中国の宗教——儒教、仏教、道教.....	220
	(一) 儒教	220
	(二) 仏教	227
	(三) 道教	230
	(四) そのほかの知識	234
第三課	中国の特産物——陶磁器とシルク.....	236
	(一) 陶磁器	236
	(二) シルク	247
第四課	中国の祝祭日と少数民族の祭り.....	252
	(一) 祝祭日	252
	(二) 少数民族の祭り	260
第五課	中国の飲食.....	263
	(一) 中華料理	263
	(二) 中国酒	278
第六課	中国伝統医学	285
第七課	中国武术	290

第五章 ガイド基礎知識——日本篇

第一課	日本の歴史	302
第二課	日本文化	316



第三課	日本の衣、食、年中行事	328
	(一) 日本の服	328
	(二) 日本料理	334
	(三) 日本の年中行事	342
第四課	日本の観光都市——東京、京都、北海道	355
	(一) 東京	355
	(二) 京都	366
	(三) 北海道	378
参考文献		390



第一章 ガイド実践

第一課 出迎え

ガ: 失礼ですが、東京文化交流団の方でしょうか。

客: はい、そうですが。

ガ: ああ、ようこそいらっしゃいました。私は北京旅行社の李と申します。
お迎えにあがりました。はじめまして、どうぞよろしく申し上げます。

客: あ、どうもありがとうございます。はじめまして。すみません、まだ中に二人ぐらいいますが。

ガ: そうですか。このツアーは全部で十人様ですね。すみませんが、皆様がお揃いになるまで、向こうでしばらくお待ちください。皆様がお揃いになりましたら、バスのほうへご案内いたします。混んでいますから、お待ちになる間、お荷物にご注意ください。

客: はい、わかりました。ところで、ガイドさん、時間がありましたら、両替をしたいんですけど、ここでできますか。

ガ: はい、できます。両替所はあちらでございます。でも少し混雑していま



すから、ホテルでなされたほうがよろしいですよ。為替レートは空港もホテルも同じです。

客：はい、わかりました。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

(しばらくして)

ガ：お客様、もう、全員揃っているでしょうか。

客：はい、みんなここにいます。

ガ：お荷物は全部お取りになりましたか。

客：はい、全部取りました。

ガ：じゃ、早速ホテルのほうへご案内します。

客：お願いします。

ガ：あちらに車を待たせてありますから。

客：はい。

ガ：さあ、バスのところにご案内しますから、迷子にならないように、私のあとについていらっしゃってくださいね。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

(歩きながら)

ガ：皆様は長旅で、さぞお疲れになったでしょう。





客: ちょっと疲れていますが、それほどではありません。私たちみんなは中国が初めてですから、何でも見たい、何でも知りたいで、これからの旅を楽しんでいますよ。

ガ: はい、わかりました。皆さんに、もし特別なご要望やご質問がおありでしたら、何でも遠慮せずにお出し願います。ご自分の家にいるようなおつもりで、中国の旅を楽しくゆっくりとお過ごしてくださいね。

客: ご親切ありがとうございます。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

(観光バス駐車所で)

ガ: はい、皆様、この車です。どうぞ、お乗りください。これから皆さんが北京に滞在中、この車がつきっきりですから、車の様子を覚えておいてくださいね。足元にご注意ください。念のために、もう一度人数を確かめさせてください。一、二、三…十。はい、全員お揃いになっています。ところで、車に弱いお客様はいらっしゃいますか。



客: はい、私はちょっと車酔いになりやすいんですが。

ガ: では、前の方へいらっしゃってください。この窓側の席はいかがでしょう。

客：はい、ありがとうございます。

ガ：そして、車に酔い止めの薬を用意しておりますから、もし、気持ちが悪くなったら、私に言ってくださいね。

客：はい、わかりました。

ガ：はい、じゃ、出発いたします。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

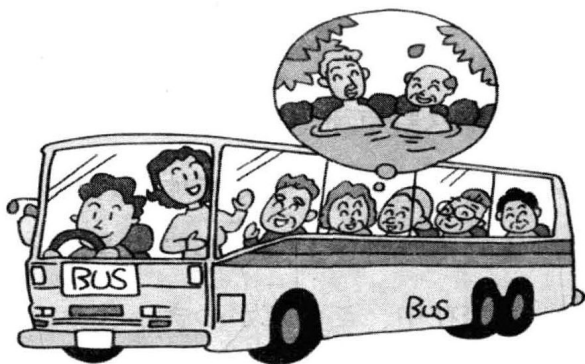
(観光バスで)

ガ：みなさま、こんにちは。北京へようこそいらっしゃいました。

客：こんにちは。

ガ：たいへんお待たせしました。東京文化交流団のみなさま、長い飛行機の旅、大変お疲れ様でござ

いました。本日は、〇〇旅行社をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。ここで、改めてご紹介させていただきます。今回ご縁がございまして、北京観光中お供させていただきます私ども——こちらは、バスの運転を勤めます〇〇です。車のナンバーは〇〇〇です。私は〇〇旅行社のガイド兼通訳の〇〇と申します。入社したばかりで、まだまだ未熟でございますが、皆様に楽しい中国旅行をしていただけるよう精一杯お世話をさせていただきますから、どうぞ、よろしくお願





いたします。

客: こちらこそよろしく申し上げます。

ガ: 皆様、これから市内の方へまいります。次は北京について少し紹介させていただきます。北京は中国の政治中心であり、文化中心でもあります。2008年8月のオリンピックの開催のため、北京では大規模な都市開発が行われました。次々にホテルがオープンし、地下鉄も開通になりました。現在整備された町を以前より快適に旅できるようになりました。

客: はい、そうですね。北京オリンピック大会の記憶がまだ新しいですね。

ガ: 北京は現代都市ですと同時に古い町でもあります。北京は3000年以上の歴史があります。長い歴史のおかげで、北京で遺跡を中心とする観光地が多いです。その中で、1987年には世界遺産に登録された故宮は代表的なものです。

客: そこはコースにありますね。

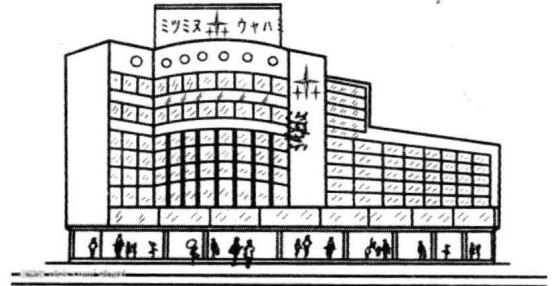
ガ: はい。そのほかに、北京にはいろいろな名所があって、短い時間で全部みて回るにはちょっと無理ですね。でも通り一遍の見学でも皆様は大にご満足いただけると思います。ここから、ホテルまで45分ありますので、皆さんはちょっとリラックスして、一眠りでもしてください。

第二課 部屋割りと食事

ガ: みなさん、お揃いになりましたか。

客: はい、揃いました。どうぞ、お
願いたします。

ガ: はい、皆さん、ようこそおいでく
ださいました。ここは五つ星の○
○ホテルです。チェックインの手



続きが終わりましたので、ただいまから部屋割りについて説明させてい
たきます。全部で20名様ですので、二人部屋が10室お取りしてあり
ます。しかし、南向きの部屋が8室しかありませんので、若い方には北
向きの部屋をお願いしてもよろしいでしょうか。

客: はい。結構です。

ガ: それでは、みなさんに部屋のキーをお渡します。このホテルのキーはカー
ド式になっております。ドアを開ける時は、カードキーをその矢印の方
向にかぎ穴に差し込み、緑のランプが点灯したら、ドアのノブを回し、
開けることができます。部屋に入ってから、キーをスイッチボックスに
差し込んでください。それに、キーをスイッチボックスに差し込んだら、
室内の電気をつけるようになります。

客: はい、わかりましたが、あの、中国ではチップは必要ですか。

ガ: 基本的にはチップの習慣はありません。ただ、近年、欧米の方がホテル
などでチップを支払うことにより、チップの習慣がすこしずつ根付いて



きています。もちろん、支払わなくても問題はありません。ポーターに荷物を運んでもらった時や部屋の掃除の人へ多少のチップを払う方が多いようです。

客: はい、わかりました。そして、ホテルにはクリーニングのサービスがありますか。

ガ: はい、あります。まず〇〇番へダイヤルして、ランドリーサービスに一度連絡してください。そして、ご注文はランドリ・リストにご記入ください。それから、洗濯物といっしょにランドリ・バッグに入れて、ドアの前に出していただきます。

客: ホテルの中にお店がありますか。

ガ: どんな店ですか。

客: お土産ではなくて、日用品が買いたいのですが。

ガ: ホテルの中に、日用品を売っているお店はほとんどありません。ホテルを出て、50メートルぐらい先にスーパーマーケットがあります。そこなら、大概の日用品はそろっていますよ。そして、日本のスーパーと同じで、ほしい品物をかごに入れて、レジに待っていて清算するだけです。言葉が通じなくても買えますよ。

客: それは安心です。あの、東京へ国際電話をしたい時は、どうすればいいのですか。

ガ: はい。まず、8を押して、続いて00を押してから、日本の国番号81、相手の電話番号という順で押してください。ただし、市外局番の最初の0を省いて押してください。

客：はい、わかりました。でも、隣の部屋へはどのように電話するのですか。

ガ：相手の部屋番号の頭に6をつけてダイヤルしてください。

客：はい。

ガ：そして、両替をしたい方はホテルでも中国銀行でもできます。

客：日本円は使えませんか。

ガ：大体使えませんが。なお、中国では自動販売機が少ないですから、コインはあまり必要ありません。またコインは再両替できませんので、ご注意ください。

客：はい、わかりました。いろいろと詳しく説明していただきまして、どうもありがとうございます。

ガ：それでは、皆さん、まず部屋を確認して、一時間ぐらいゆっくりお休みください。一時間の後で、ホテルのレストランへ行っていただきます。晩御飯は6時になっておりますので。レストランはホテルの二階にあります。どうぞ、よろしくお祈りします。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

(レストランで)

ガ：これでお料理は全部そろいました。どうぞごゆっくり。

客：すみません。

ガ：はい、なにかご用ですか。





- 客：北京は初めてですから、北京の自慢料理を一度いただきたいですから、ちょっと紹介してくれませんか。
- ガ：北京料理は北方民族の料理や宮廷料理の影響を受けて発達してきました。塩味でこってりした味付けが特徴です。北京の名物料理はまずなんを言っても「北京ダック」です。そして、「羊肉のしゃぶしゃぶ」もずいぶん人気があります。
- 客：はい、「北京ダック」の追加注文をお願いしたいのですが。よろしくお願ひします。
- ガ：定食の以外は別料金になりますが。よろしいでしょうか。
- 客：はい、大丈夫です。
- ガ：わかりました。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

(夕食の後)

- 客：ごちそうさまでした。
- ガ：では、これから明日の朝食券をお配りします。そして、朝食の場所はこのレストランで、時間は朝7時からです。お忘れないでください。
- 客：朝食って、一般はどんなものがありますか。
- ガ：中華、和風と洋風の3種類があります。中華は、お粥、ゆで卵、焼き餃子などがあります。洋食には、パン、目玉焼き、ハム、チーズコーヒーなどがあります。和食は焼き魚、納豆、茶碗蒸し、ご飯と味噌汁などです。